

丸喜の歴史

明治28年

「河原商店」創業

丸喜株式会社は、河原清藏が24歳の時に、「河原商店」の看板を掲げ、鼻緒・下駄製造業として店を構えたのが始まり。昭和15年、二代目社長に河原福松が就任。明治、大正、昭和初期と、会社発展とともに、



製造業から製造卸業として業務を拡大。販売は日本国内以外に、東南アジア地区にも輸出を手掛けていった。昭和39年、鼻緒でマーケット10%を占め、全国一位になり、河原商店の価格が全国の価格の基準になった。

昭和38年

丸喜株式会社の設立

昭和38年5月8日に、サンダル部門が独立し、3代目社長河原啓介（現相談役）が、丸喜株式会社設立。量販店へ販路を拓き、徐々に売り上げを伸ばしていく。平成10年には、サンダル供給量（シェア11%）では全国トップに。

平成14年 卸売から企画製造卸へ

企画開発部を立ち上げ、「履物卸商社」から「フットウェア製造企画卸」として歩みだす。平成15年、現会長の河原義朗が4代目社長に就任。香港のGML社と業務提携。上海に弊社専用の検品・物流センター稼働。大手流通S社様へ直流を開始。平成19年、上海現地法人を設立。

平成26年

ブランドの立ち上げ

クラフト&スローライフをコン

セプトにしたブランド、「ナッツワールド」を発表。ライフスタイル提案メーカーとして歩み始める。大手百貨サイトなどに店し、お客様と直接繋がる新しい販路を開拓。多くのファンの皆様に喜んでいただけるよう様々な取り組みを行う。

EXPOに出展。海外のバイヤーからも高い評価を受け、多くの世界で健康に困る方々へ届けるために、よりシューズの魅力を伝え、さらなる販路の拡大を目指す。

二百年企業を目指して

丸喜グループは、「ライフスタイル提案を通じて、世界中をハッピーにする」ことを使命とし、創業から一番大切にしてきた「信用」「縁」を大事にして、皆様から信頼され、喜ばれる会社を目指し、社員・パートナーと共に尽力して参ります。

会社設立当初から貫く経営理念

消費者のニーズを先取りし、価値ある商品を絶えず、安心と安全をモットーに提供すること

公平を信条とし、努力し成果を挙げる者が報われる、働きがい、生きがいのある職場にすること

倫理を信条として、効率経営に徹し、会社を取り巻く全てのものへ積極的に利益を還元し、共に発展していくこと

令和2年 WT-LINE®

シューズが誕生

骨ストレッチ10周年、丸喜株式会社創業125年の節目の年にウォーキングシューズを発売。令和5年には初めてクラウドファンディングを活用しルームシューズを発売。「第6回メディカルジャパン／介護&看護



現社長の河原勢朗